

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第7期第7回相模原市緑区区民会議				
事務局 (担当課)		緑区役所区政策課 電話042-775-8802(直通)				
開催日時		令和6年2月9日(金)午前10時~正午				
開催場所		緑区合同庁舎4階集団指導室				
出席者	委員	19人(別紙のとおり)				
	その他	0人				
	事務局	8人(区長、副区長、区政策課長、他5人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開 会 2 議 題 情報発信事業の実施に向けた取組内容について 3 その他 4 閉 会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(〇 は会長の発言 〇 は小委員会議長の発言 〇 は委員の発言 〇 は事務局の発言)

1 開会

緑区役所区政策課長の進行により、会議の成立要件を満たしている旨の報告、会議の公開の確認を行った。また、傍聴希望者がいない旨の報告を行った。

2 議題

牧瀬会長の進行により、議事が進められた。

【情報発信事業の実施に向けた取組内容について】(小委員会形式)

事務局から資料に基づき前回の審議結果の振り返りと今後の進め方について説明を行ったのち、「若者の区民会議」「SNSを活用した情報発信」2つの小委員会に分かれ、具体的な事業の検討を行った。

各小委員会ともに若者がキーワードとなっているが、若者といっても幅広いのでその中でもターゲットを絞った方が成果につながると思う。流山市や戸田市などで子育て世代にターゲットを絞った施策を行い、成功したという事例もある。そういったことについても考えつつ小委員会で検討を深めていただきたい。

「若者の区民会議」の主な意見(進行：熊谷委員長)

区民会議を行う対象者について、まず話し合いたい。

津久井再編のワーキングを行った際、津久井高校の生徒に参加してもらったが、津久井に住んでいない生徒の意見もとても貴重であった。区内に県立高校が4校あり、さまざまな意見を聞くには、緑区在住の生徒に限らず区外から通う生徒も含め、この高校4校の生徒から選出してもらうのがよいのではないかと思う。

同意見で、区外に住んでいる生徒の意見もあった方がよいと思う。

学校側の都合もあると思うが、4校すべてに声はかけるべき。

本日、委員の皆様が検討し、いろいろと決めても高校側が受け入れてくれず、開催できなくなってしまうことを避けるため、先日、区長が県立高校4校の校長を訪問し、4校とも御協力いただける了承を得ている。

では、区内の県立高校4校の生徒による会議という方向で話を進める。各校何人ずつ出席してもらうか。

5人ずつ×4校で最大20人くらいはどうだろうか。

何回実施するか決めるのが先ではないか。

自由な意見を聞きたいからバズセッションのようなかたちで区民会議のテーマからそれない程度に細かなテーマは絞らず、本音を聞きたい。

本来であれば学校の授業の一環でやってもらって、その代表に来てもらって堅苦しくなく話し合ってもらえる場があると望ましい。

授業とすると大変だから匿名でアンケートをしてもらって、その結果をもとに話し合うというのもよいと思う。

今の若い人たちはこういう場でしっかりと自分の意見を発言できるはず。実施回数やテーマもこちらで決めず、生徒たちが主体性をもってやるべきでは。

どの高校も協力する了承は得ているが、生徒たちは試験や部活動もあり忙しい。皆様の任期が7月末までということもあり、それまでに何回も開催というのは難しいと思われる。テーマについてもある程度決まっていた方が話し合いがしやすいのではないかと思うがいかがか。

今回の会議については、少子高齢化が進む中で高校生のみなさんが考える地域振興ということの中でフリートークということによいか。

また人数については各校4～5人で最大20人。時期は高校との調整もあるだろうから事務局において高校と調整してほしい。会議時間はこの会議と同様1.5時間程度ということでしょうか。

回数については2回実施が望ましい。1回目は概要の説明だけ行い、参加者に自由に意見を出し合ってもらい、現区民会議委員は口出しせず傍聴する。2回目はその結果をもとに内容を詰めていく。

内容を見返すためにも当日録画できるとよい。

回数が多いと生徒への負担も大きいと学校側からも話をいただいている。中間試験や期末試験もあるので、試験に影響がない6月頃に1回開催してみることはいかがか。

できれば2回が望ましい。ただ参加いただく生徒の都合もあると思うから、そのあたりの調整は事務局に任せる。

承知した。フリートークの中でも特にキーワードなどあるとよいかと思うがいかがか。

「住もうよ緑区」に則って、どうしたら住み続けたいか、住みたいと思うか、住みたくないならどうすれば良いかというのはどうか。

緑区の魅力や将来の展望、嫌なところについて、自由な意見を聞きたい。マイナスな意見もはじかれなような自由な会議の場としてほしい。

学校との調整を進めつつ、決まり次第委員のみなさんに共有させていただく。

「SNSを活用した情報発信」の主な意見（進行：河津委員長）

初めに、SNSの媒体や活用方法について各委員から意見を伺いたい。

グループワークでは、InstagramやYouTubeの案が出ていた。もちろんすべてで発信することが必要だと思われるが、どこから始めるべきか。

InstagramやXについては、緑区の公認でアカウント運用を委託する形はどうか。運用ごと委託することで、フォロワー数増等が評価価値となり、運用者の

モチベーションも向上すると思われる。

市で、なにか事例はあるか。

市では観光大使等の公式SNSを運用しているが、緑区では現状実績がない。

動画なら決まったMCを立てて作成していくことになると思う。たとえば、それを学生等へ依頼する場合、学生側のメリットを考える必要がある。

津久井高校では、地域探究の授業がある。授業の一環としての実施や動画の中で学校紹介などが出来ると、高校側のメリットにつながる。

今の若者にとっては、フォロワーが増えるとか動画の再生数が伸びるとか、そういうことに価値を感じる。その点を考慮して仕組みづくりができるとうい。

Instagramにおいて、ハッシュタグキャンペーン等はフォロワーを増やす方法として活用できると思う。その際、グルメや観光などテーマを絞って実施したほうがわかりやすく、参加者も増えるのではないかと。

ハッシュタグキャンペーンについては、市や中央区でも実施の例がある。

学生を主体として考えるのは良いと思う。今回は、緑区のPRがテーマなので、緑区の魅力や行事を学生に体験してもらった動画を作ると良いのではないかと。

まず、学生がアクセスしやすい媒体から始めるべきだと思う。YouTubeよりはInstagramやTikTokのほうが学生はアクセスしやすい。現状のSNSの運用を見てみると、見てる人の知りたい情報が書かれていない印象があるので、その点を改善したほうがいい。

今の若い人は、興味を惹かれれば自分で調べてくれる。知りたい情報を記載するのは、ホームページ等の役目で、SNSはまず興味を持ってフォローしてもらえようような、インパクトのある情報をどんどん発信することが重要だと思う。

ここまでの意見を踏まえると、色々な媒体を活用して、幅広い情報を発信していく方向で、特に若い人の視点を取り入れていきたいということではないかと。

将来的な方向性は承知した。動画や記事の作成を依頼するにあたり、内容のチェックなどがどうしても必要になってくると思われるがどうか。

行政主導の発信はこれまでもやってきているため、新しいことをするなら区民会議の委員などが内容のチェック等に参画できるとよいのではないかと。

よいと思う。その際、情報には旬がある。審査等は、提出されてから遅くとも1週間くらいでできるようにシステムをつくる必要があると思う。

今日話したかぎりでも、さまざまな意見が出ている。一旦ここまでの意見を委員長と事務局で預かり、まず何から始めるかという視点で、たたき台を作成してもらい、日を改めて委員会を開催したいと思うがどうか。

承知した。では、委員長と相談の上、委員会の開催日程を事務局より連絡する。

両委員会の事業ともぜひ柔軟で自由な活動の場としていただきたい。なにか疑問点あれば事務局へ問い合わせさせていただき、委員長とともに話を詰めていって

ただきたい。

4 その他

相模原市からの情報提供として、広域行政課から「特別市制度」についての説明を行った。

次回の区民会議は、令和6年5月頃に開催を予定

5 閉会

相模原市緑区区民会議委員出欠席名簿

(順不同・敬称略)

区 分	氏 名	所 属 団 体 等	出欠席
まちづくり会議	森 誠壽	橋本地区まちづくり会議 副代表	出席
	佐藤 金男	大沢地区まちづくり会議 代表	出席
	小島 盛生	城山地区まちづくり会議 代表	出席
	熊谷 弘	津久井地区まちづくり会議 代表	出席
	河津 暁	相模湖地区まちづくり会議 代表	出席
	宮野善三郎	藤野地区まちづくり会議 代表	出席
関係団体	松井 光臣	相模原市地区社会福祉協議会緑区連絡会 会長	出席
	立川 直子	相模原市民生委員児童委員協議会 常任理事 (津久井地区民生委員児童委員協議会 会長)	出席
	角田 健	相模原市 P T A 連絡協議会 副会長	欠席
	佐伯 守章	相模原商工会議所 青年部 副会長	欠席
	小野沢健二	津久井地域商工会連絡協議会 会員 (相模湖商工会 事務局長)	欠席
	吉野 賢治	公益社団法人相模原市観光協会 代表理事	出席
	村上 翔一	公益社団法人相模原青年会議所	出席
	武井 俊長	公益社団法人津久井青年会議所 理事長	出席
	佐藤 鉄郎	相模原市既存住宅リフォーム・改築推進協議会 事務局長	出席
	星 和美	特定非営利活動法人ふじの里山くらぶ 理事	出席
	米山 敦子	特定非営利活動法人男女共同参画さがみはら 副代表理事	出席
学識経験者	牧瀬 稔	関東学院大学法学部 准教授	出席
	池田 寛二	法政大学 名誉教授	欠席
区民	白水 敦子	公募委員	出席
	松平菜保子	公募委員	出席
	日高 彩希	公募委員	出席
民間事業者	梶原 英俊	相模湖リゾート株式会社 代表取締役社長	出席
	佐藤 賢策	東日本旅客鉄道株式会社橋本駅 駅長	欠席
	中原 正貴	神奈川つくい農業協同組合 經濟部 営農経済課長	欠席

は会長、 は副会長